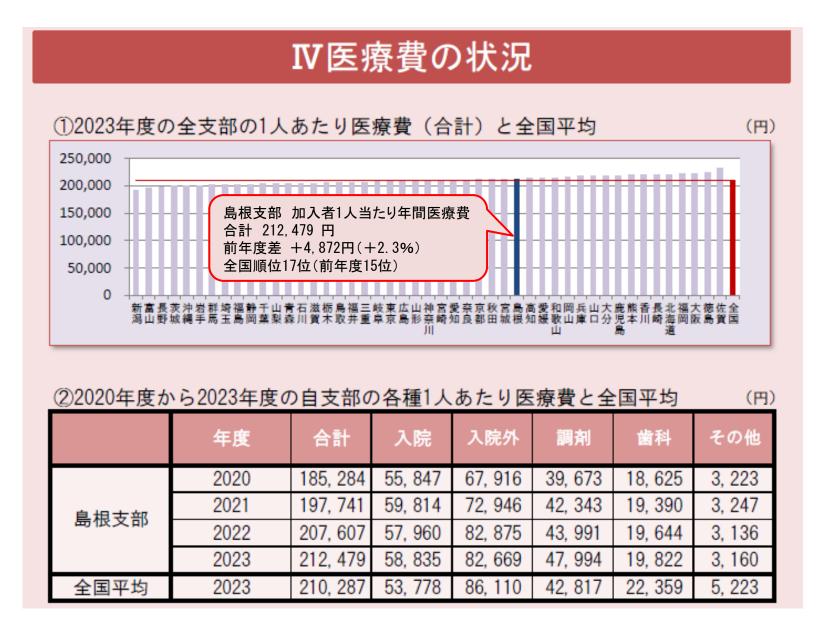
島根支部の健康課題の報告および課題解決に向けた事業方針について

令和7年10月27日 令和7年度第2回評議会



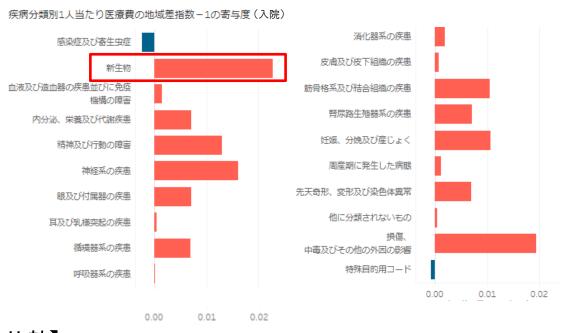
1. 島根支部の現状について

都道府県支部別 加入者1人当たりの年間医療費 全国平均との差【令和5年度データ】



島根支部 疾病分類別加入者1人当たり医療費(入院)【令和6年度データ】

入院の医療費に関しては「新生物<腫瘍>」に係るものが全国と比較して高い



【地域差指数一1とは】

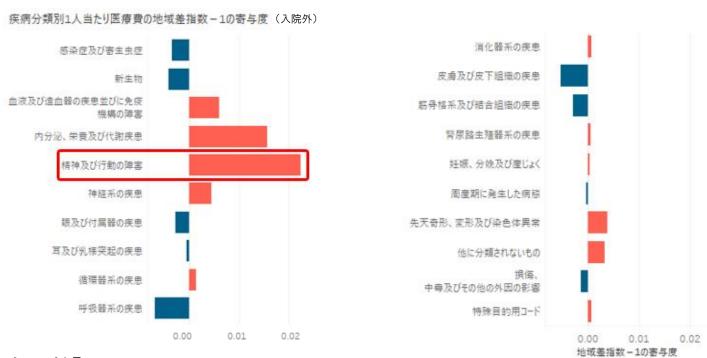
医療費等の地域差を表す指標として、1人当たり医療費等について年齢調整し、全国平均を0として指数化したもの。

〇より大きい数値であれば、全 国平均より高い水準にあり、〇よ り小さい数値であれば、全国平均 より低い水準にあることを示して いる。

統計年度	感染症及び寄生虫症 (入院)		血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害 (入院)	内分泌、 栄養及び代謝疾患 (入院)	精神及び行動の障害 (入院)	神経系の疾患 (入院)	眼及び付属器の疾患(入院)	耳及び乳様突起の疾患 (入院)	循環器系の疾患 (入院)	呼吸器系の疾患 (入院)
2022	0.000	0.029	0.002	0.004	0.015	0.002	0.006	0.000	0.000	0.000
2023	-0.002	0.021	0.001	0.007	0.009	0.010	0.006	0.001	-0.008	0.000
2024	-0.002	0.023	0.001	0.007	0.013	0.016	0.007	0.000	0.007	0.000
統計年度	消化器系の疾患 (入院)	皮膚及び皮下組織の疾 患 (入院)	筋骨格系及び結合組織 の疾患 (入院)	腎尿路生殖器系の疾 患 (入院)	妊娠、 分娩及び産じょく (入院)	周産期に発生した病態 (入院)	先天奇形、変形及び染 色体異常 (入院)	他に分類されないもの (入院)	(損傷、中毒及びその他 の外因の影響(入院)	特殊目的用コード(入院)
統計年度					分娩及び産じょく(
	入院)	患 (入院) 0.003	の疾患 (入院)	患 (入院)	分娩及び産じょく(入院)	(入院)	色体異常 (入院)	入院)	の外因の影響 (入院)	入院)

島根支部 疾病分類別加入者1人当たり医療費(入院外(調剤含む))【令和6年度データ】

入院外の医療費に関しては「精神及び行動の障害」に係るものが全国と比較して高い



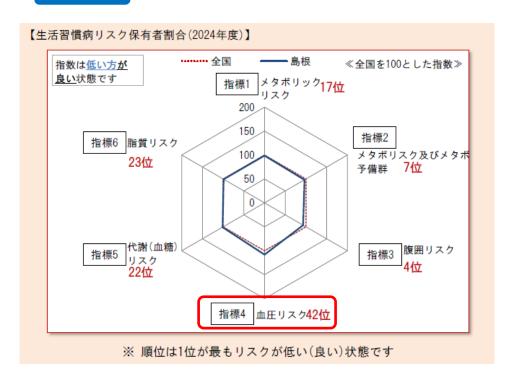
統計年度	感染症及び寄生虫症(入院外)	新生物 (入院外)	血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害 (入院外)	内分泌、 栄養及び代謝疾患(入院外)	精神及び行動の障害 (入院外)	神経系の疾患(入院外)	眼及び付属器の疾患(入院外)	耳及び乳様突起の疾患 (入院外)	循環器系の疾患(入院外)	呼吸器系の疾患(入院外)
2022	-0.001	0.000	0.006	0.008	0.023	0.004	-0.003	0.000	0.000	-0.003
2023	-0.003	-0.002	0.007	0.008	0.022	0.005	-0.002	0.000	0.000	-0.004
2024	-0.003	-0.004	0.006	0.016	0.022	0.004	-0.003	-0.001	0.001	-0.007
統計年度	消化器系の疾患(入院外)	皮膚及び皮下組織の疾 患 (入院外)	筋骨格系及び結合組織 の疾患 (入院外)	腎尿路生殖器系の疾 患 (入院外)	妊娠、 分娩及び産じょく (入院外)	周産期に発生した病態 (入院外)	先天奇形、変形及び染 色体異常 (入院外)	他に分類されないもの(入院外)	損傷、中毒及びその他 の外因の影響(入院外)	特殊目的用コード(入院外)
2022	0.000	-0.005	-0.003	0.005	0.000	0.000	0.000	0.002	-0.001	-0.002
2023	-0.001	-0.005	-0.003	0.001	0.000	0.000	0.002	0.001	-0.001	-0.002
2024	0.001	-0.005	-0.003	0.000	0.000	0.000	0.004	0.003	-0.001	0.001

健診結果における生活習慣病リスク保有者の割合(男女別)【令和6年度データ】

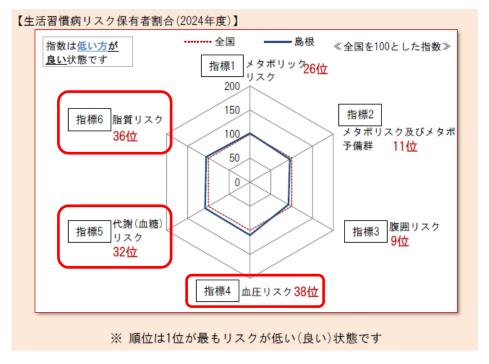
男女ともに<u>血圧</u>リスク保有率が全国と比較して高い

また、女性については、代謝(血糖)リスクおよび脂質リスク保有率も全国と比較して高い

男性



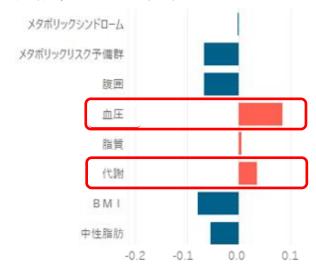
女性



健診結果における生活習慣病リスク保有者の割合(男女計)【令和6年度データ(経年)】

全国と比較して血圧リスク、代謝(血糖)リスクが高い。

健診結果の地域差指数-1



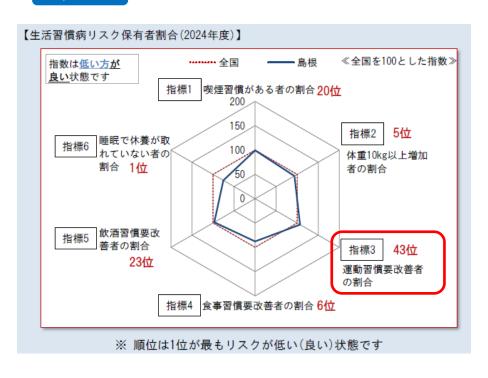
統計年度	メタボリックシンドロームのリス ク保有率	メタボリックシンドロームのリス ク保有率 地域差指数-1	メタボリックリスク予備群の 割合	メタボリックリスク予備群の割 合 地域差指数-1	腹囲のリスク保有率	腹囲のリスク保有率 地域差指数-1	血圧のリスク保有率	血圧のリスク保有率 地域差指数-1
2022	15.5%	-0.016	11.5%	-0.091	32.3%	-0.078	48.3%	0.051
2023	15.6%	-0.015	11.8%	-0.072	32.6%	-0.073	49.5%	0.072
2024	16.0%	-0.001	12.0%	-0.066	33.3%	-0.066	50.4%	0.084
統計年度	脂質のリスク保有率	脂質のリスク保有率 地域差指数-1	代謝のリスク保有率	代謝のリスク保有率 地域差指数-1	BMIのリスク保有率	BMIのリスク保有率 地域差指数-1	中性脂肪のリスク保有率	中性脂肪のリスク保有率 地域差指数-1
統計年度	脂質のリスク保有率 28.3%		代謝のリスク保有率 17.1%		BMIのリスク保有率 28.2%		中性脂肪のリスク保有率 17.7%	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1

健診結果における生活習慣要改善者の割合(男女別)【令和6年度データ】

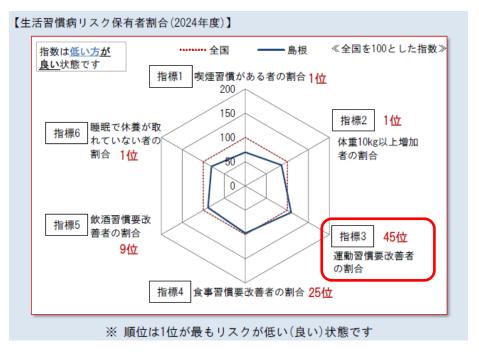
全国と比較して男女ともに運動習慣要改善者※の割合が高い

※運動習慣要改善者:「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している」「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」の3問中2問以上に「いいえ」と回答した者の割合

男性



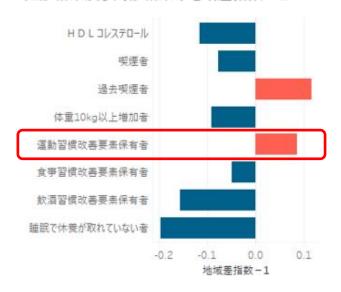
女性



健診結果における生活習慣要改善者の割合(男女計)【令和6年度データ(経年)】

全国と比較して「1日30分以上の運動習慣が無い割合」が高い

健診結果及び問診結果の地域差指数-1



統計年度	H D L コレステロールのリスク 保有率	H D L コレステロールのリスク 保有率 地域差指数-1	喫煙者の割合	喫煙者の割合 地域差指数-1	※過去喫煙者の割合	過去喫煙者の割合 ※ 地域差指数-1	体重10kg以上増加者の割 合	体重10kg以上増加者の割 合 地域差指数-1
2022	3.4%	-0.155	25.1%	-0.094	0.0%	0.000	36.6%	-0.107
2023	3.5%	-0.152	25.5%	-0.082	0.0%	0.000	37.1%	-0.103
2024	3.5%	-0.115	25.4%	-0.076	18.3%	0.116	38.4%	-0.091
統計年度	運動習慣改善要素保有者 の割合	運動習慣改善要素保有者 の割合 地域差指数-1	食事習慣改善要素保有者 の割合	食事習慣改善要素保有者 の割合 地域差指数-1	飲酒習慣改善要素保有者 の割合	飲酒習慣改善要素保有者 の割合 地域差指数-1	睡眠で休養が取れていない 者の割合	睡眠で休養が取れていない 者の割合 地域差指数−1
	77.487	0.077	50.2%	-0.038	11.7%	-0.034	28.4%	-0.238
2022	73.1%	0.077		0.000				
2022	73.1% 72.8%	0.086	50.6%	-0.039	12.0%	-0.020	30.0%	-0.221

2. 島根支部の課題について

課題

医療費

入院医療費

①新生物<腫瘍>

外来医療費

②精神及び行動の障害

生活習慣病 リスク

③血圧リスク

④代謝(血糖)リスク

生活習慣 要改善

⑤運動習慣要改善者の割合

3. 課題解決に向けた事業方針について

医療費

入院医療費 ①新生物<腫瘍>

これまでの取組(抜粋)

生活習慣病予防健診受診機会の拡大

年度当初と年度終わりに行う被保険者の生活習慣病予防健診集団検診 の実施

がん検診受診に向けた体制整備

被保険者の年度当初の生活習慣病予防健診の集団検診実施及び被扶養者を対象とした特定健康診査における市町村のがん検診との同時実施

市町村との共同広報

がん検診受診啓発に関する市町村広報誌等への同封による全戸配布

市町村に対する情報提供

協会けんぽが保有するがんに関する医療費、健診データの集計データ 等の提供

評価・改善点

生活習慣病予防健診受診率

R3 : 65. 7% \Rightarrow R4 : 70. 8% \Rightarrow R5 : 71. 9% \Rightarrow R6 : 69. 6% (72. 8% \times)

※令和5年度までの集計方法にて算出した場合の受診率 (令和6年度から契約健診実施機関単位から被保険者記号単位で集計している)

令和3年度から比較すると、数値は改善傾向にある。

新生物1人当り入院医療費の地域差指数-1

 $R4 : 0.029 \Rightarrow R5 : 0.021 \Rightarrow R6 : 0.023$

令和4年度から比較すると数値が改善傾向にあるものの、依然として 全国よりも高い状況が続いている。

引き続き、健診受診機会の拡大に努めるとともに、今後行われる健診体系の見直しの周知と併せ、データを利用するなど、各種広報媒体を活用したがん検診の重要性の更なる啓発が必要。

事業方針

がん検診受診から精密検査受診までの体制づくり

- ●生活習慣病予防健診の更なる推進
- ●市町村のがん検診と協会の特定健診の同時実施の促進
- ●健診体系の見直しに伴う積極的な広報の実施
- ●肺がんの要精密検査、要治療該当者への受診勧奨

医療費

外来医療費 ②精神及び行動の障害

これまでの取組(抜粋)

メンタルヘルスに関する健康づくり出前講座の実施

島根産業保健総合支援センターと連携した健康宣言事業所を対象としたサポート事業としての出前講座の実施

メンタルヘルス対策動画の作成・公開と広報の実施

メンタルヘルス対策の基礎知識を収録した「個人向け」と「管理職向け」の動画2種の作成・公開および普及促進に向けた関係団体と連携した広報の実施

メンタルヘルスに関する医療費等実態分析と情報発信

受診率(1人当たり件数)の高さが1人当たり医療費に影響を与えていることまでは確認できているものの、その原因をつきとめられていないため、外部委託による分析を実施し、結果に基づく情報発信を実施。

事業方針

関係団体と連携したメンタルヘルス対策の周知

- ・「メンタルヘルス」出前講座の利用促進
- ・メンタルヘルスに関するセミナー等の開催
- ・医療費分析結果を踏まえたメンタルヘルス対策に関する広報の実施

評価・改善点

精神及び行動の障害1人当り入院外医療費の地域差指数-1

 $R4 : 0.023 \Rightarrow R5 : 0.022 \Rightarrow R6 : 0.022$

令和4年度から比較すると数値はほぼ横ばいであり、依然として全国よりも高い状況が続いている。

メンタルヘルス対策動画再生回数

R7.9末 : 個人向け 1,170回 管理職向け 690回

個人向け動画は、1,000回を超えていることから、多くの方にみていただいているといえる再生回数には達しているものと評価できる。

【参考】

メンタルヘルス出前講座の申込状況

R5:19件 R6:14件 R7:7件(上半期)

傷病手当金「精神及び行動の障害」の件数構成割合 R3:35.53% ⇒ R4:19.99% ⇒ R5:31.62%

出前講座や対策動画の展開など、ポピュレーションアプローチに向けたコンテンツの見直しの検討を進めるとともに、令和7年度の外部委託による分析結果を踏まえた効果的な情報発信が必要。

生活習慣病リスク

③血圧リスク ④代謝(血糖)リスク

これまでの取組(抜粋)

特定保健指導の推進

- ・直営保健師・管理栄養士による特定保健指導業務の強化
- ・健診当日の特定保健指導実施体制の整備
- ・大規模事業所等に対する特定保健指導受け入れの働きかけ

重症化予防の推進

- ・健診機関による受診勧奨の実施
- 協会けんぽによる未治療者に対する受診勧奨
- ・糖尿病性腎症重症化予防対策としての保健指導の実施

ヘルスマネジメント認定制度の普及

- ・健康経営情報誌「けんこらぼ」の発行
- ・健康経営セミナー開催
- •健康宣言事業所数拡大勧奨
- ・健康づくりの取組事例集の展開 等の実施

代謝リスクとの要因分析をはじめとした分析事業の実施

アドバイザーおよび外部専門業者へ委託した代謝リスクの要因分析

事業方針

保健事業の推進、健康経営、要因分析(広報)

- 特定保健指導の更なる推進
- 重症化予防事業の推進
- ・健康経営の普及促進による全県的な健康意識の底上げ
- 各種広報媒体を活用した島根支部の現状周知及び生活習慣改善の啓発

評価・改善点

特定保健指導実施率(実績評価者数)

・被保険者 R4 : 18.2% ⇒ R5 : 23.3% ⇒ R6 : 37.5% (2.653人) (3.303人) (5.362人)

・被扶養者 R4 : 47.2% ⇒ R5 : 41.6% ⇒ R6 : 37.1% (273人) (200人) (172人)

被保険者は、着実に実施率を伸ばしているが、被扶養者は実施率が下がっている。

健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合

 $R5 : 35.2\% \Rightarrow R6 : 36.5\%$

健康宣言事業所数

R4: 1,353事業所 ⇒ R5: 1,379事業所 ⇒ R6: 1,516事業所

令和4年度から比較すると着実に宣言事業所数を増やしている。

分析結果を踏まえた効果的な広報によるポピュレーションアプローチの 推進と、特定保健指導実施率向上に向けた取り組み強化や重症化予防 事業の継続によるハイリスクアプローチの実施の両方が必要。

生活習慣 要改善

⑤運動習慣要改善者の割合

これまでの取組(抜粋)

ウォーキングイベントの開催

島根県と共同開催によるウォーキングイベントの開催 ・令和6年度「謎解き&クイズウォークラリー しまねクエスト2024」

運動動画の周知広報

YouTube動画「どこでもチェック!からだ診断」の普及促進広報

運動に関する健康づくり出前講座の実施

外部の専門業者による健康宣言事業所を対象とした出前講座の実施

島根県との連携

島根県と島根大学医学部が共同制作している健康情報掲載サイト「しまねM AMEインフォ」内掲載の運動動画の活用

事業方針

関係団体と連携した運動習慣の定着促進

- ウォーキングイベントの実施
- 「運動」に関する出前講座の利用促進
- 運動動画の利用促進
- 「しまねMAMEインフォ」など、他団体作成ツールの有効活用

評価・改善点

ウォーキングイベント参加者数

R4 : 1,059人 ⇒ R5 : 1,205人 ⇒ R6 : 2,083人

年々参加者数が増加している。協会けんぽが実施している各種広報の 効果が表れているものと推察する。

どこでもチェック!からだ診断再生回数

R7.9末: セルフチェック編 713回

セルフチェックについては、今後も再生回数を更に拡大する取り組み が必要。

出前講座(運動関連)申込件数

R7.9末: 仕事が原因の体調不良の改善 18件/60件中 運動習慣の定着 17件/60件中

関係団体と連携したイベントを継続しつつ、参加者数をどれだけ増やすか、これまで展開してきた運動動画などのツールをいかに多くの方に見ていただけるかが重要となるため、効果的な広報等の検討が必要。

ご意見をいただきたい点について

- 1. 島根支部の課題に対して、これまでの島根支部の取組みを踏まえて、今後 島根支部が実施する施策として有効であると考えられることについて
- 2. 島根支部の実施している分析事業の結果に基づいた加入者への行動変容を 促すために有効な広報に関する手法について

【島根支部の課題】

- ①新生物<腫瘍>に関する入院医療費が高い
- ②精神及び行動の障害に関する外来医療費が高い
- ③血圧リスクが高い
- ④代謝(血糖)リスクが高い
- ⑤運動習慣要改善者の割合が高い